

SuperStream-NX 導入事例

株式会社バローホールディングス 様

会計統合ソリューションをグループ企業に順次導入し、業務効率化と経営戦略にリンクして活用できる会計システムを実現



株式会社コアサポート
取締役
業務統括部 兼 システム部 部長
古川 哲也 氏



株式会社バローホールディングス
経営企画部 次長
石川 良宏 氏



株式会社コアサポート
業務統括部 経理2課
鷲津 充彦 氏

事例のポイント

課題背景

- ・ 現行の会計システムは、データの種類や扱い量が増え、レスポンスや出力が遅くなり、手作業でのフォローが増えていた
- ・ 多様な会社の会計業務を1つのシステムで扱い、業務効率化を実現したいが、既存のシステムには余裕がなく、新しい会計システムが必要であった
- ・ M&Aで会社が仲間入りしても、すぐに会計業務を統合できる会計システムをバローグループ全体の強みにしたい

成 果

- ・ 月次締めや、決算時に要する時間が短縮され、昼に締めて夕方には配布が完了できるようになった
- ・ システム連携も容易にでき、店舗が増えても処理時間が増える心配もなく、作りたい資料ができるなど、新システム導入の効果を実感中
- ・ 今後M&Aも積極的にいき、いろいろな業態の会社が仲間入りしても、すぐに会計統合を可能にすることでグループ全体の強みを実現

導入の背景や課題

多様な業態のシナジー効果を発揮するためにも
グループ全体の会計システムを統合し会計データを経営に生かしたい

バローホールディングス様は、スーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストア、スポーツクラブの各事業を展開するほか、農産物の生産、食品の製造・加工、物流、調達など、多様な機能をグループ内の企業が担う、製造小売業を目指しています。

バローホールディングス様に加え事業会社7社の合計8社は、2018年4月より「SuperStream-NX」を活用する会計統合ソリューションを順次導入しています。事業を取り巻く環境について、コアサポート取締役の古川哲也氏は次のように語ります。

「これまでお客様の近くに店をつくり、多店舗展開してきました。しかし、人口は頭打ちになり、近年は人手不足による人件費や建築費が高騰するなど、事業環境は良いとは言えません。また共働きの単身世帯が増え、まとめ買いへと購買スタイルも変わってきました。ドラッグストアは、お客様の近くに出店する余地がありますが、スーパーやホームセンターにつ

いては、大型店舗に豊富に品揃えし、広域からお客様を集める店舗づくりに変えています。そのため、商品力を付けることに取り組み、多様な業態を持つグループシナジーを生かし、地域のお客様に支持される店舗づくりに注力しています」

バローホールディングス経営企画部次長の石川良宏氏は、新システム導入のねらいを、こう述べます。「ホールディング制に移行後は、会計システムを4社に分離して利用してきました。その後、2016年にシェアードサービス会社のコアサポートが設立され、業務委託を受ける体制に変わりました。いろいろな会社の会計業務を1つのシステムで取り扱えないと、作業の割り当てや業務効率化が難しくなります。ところが、既存の会計システムには余裕がなく、次世代のための場所もない環境でした。そのため、どうしても新しい会計システムが必要でした。実際、データの種類とボリュームも増え、レスポンスやデータ出

valer Holdings



お客様名：株式会社バローホールディングス
所在地：〒509-7201 岐阜県恵那市大井町180番地の1
設立：1958年7月(2015年10月1日付でホールディングス制に移行し「株式会社バロー」より商号変更)

資本金：136億9千万円

事業内容：チェーンストア事業およびそれに関連する事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理(2019年3月1日現在、事業会社が展開する店舗数：スーパーマーケット290店舗、ドラッグストア379店舗、ホームセンター36店舗、スポーツクラブ143店舗、ペットショップ22店舗、その他6店舗 合計876店舗)*

URL：<http://valorholdings.co.jp/>

*株式会社コアサポートは、グループ企業の経営管理業務の受託事業を行う会社

NECソリューションイノベータ

力が遅くなり、手作業でフォローする場面も増えてきました。そこで、新会計システム入れ替え時には、グループ全体で会計システムを統合し、迅速な会計処理でデータを経営に生かせるようにしたいと考えていました。

またシステムの課題では、サブシステムをいろいろと作っていて、連携部分をスクラッチで作っても

らったり、Excel利用で頑張ったりしていましたので、これを解消することも大きな目的でした。さらにハードも、OSがバージョンアップすると会計システムが動かなくなるというタイミングを迎えており、導入が迫られている状況でした」



SuperStream-NX プロジェクトメンバー

選択のポイント

求める機能に対するフィット率が最も高くカスタマイズせずに業務をうまく組み立てられる点を評価

古川氏は、新会計システムの導入に際し、選定ではどのようなことを重視したのか、そのポイントを挙げます。

「2つあります。1つは、グループ経営のできる会計システムであること。グループ内には小売りだけでなく、製造や物流企業などもありますから、いろいろな会社の業務を網羅できる機能があるかをポイントとしました。もう1つは、パッケージをそのまま使いたいという希望を実現できるかどうかでした。法改正があっても、プログラムを手直しするのではなく、バージョンアップで対応して使えることを前提としました」

パローホールディングス様は、新会計システム構築

にあたりITベンダー9社に声を掛けました。

「NECおよびNECソリューションイノベータの提案を選んだ最も大きな理由は、想定している業務に必要な機能項目に対して『SuperStream-NX』のフィット率が最も高いことでした。そうは言っても、現行手作業でやっている業務をカスタマイズなしで、どこまで減らせるのかと思っていましたが、当初私たちが想像していたよりもフィット率が高く、うまく業務を組み立てられるのではないかと思います。

会計システムは、最終的な利用目的は同じです。そこにたどり着くための手法が、業務の考え方とかけ離れていると何ともしませんが、その点についてもギャップはなく、マスターの組み方次第で何でも

きるという印象を持ちました」（石川氏）

実際の導入時に尽力したコアサポート業務統括部経理2課の鷲津充彦氏は、当時の状況を次のように語ります。

「開発は三次に分けて行い、至急導入したいと希望するグループ企業4社には先行して導入を進めました。導入予定日が近いので、スケジューリングには苦労しました。『SuperStream-NX』の機能は、以前のシステムに比べて高度ですが、その分マスターの設定にはかなり気を遣い、工夫もしました。またサブシステムとの連携の部分に関しては、NECソリューションイノベータに支援してもらいながら工夫して進めていきました」

導入後の成果

月次処理や決算業務に要する時間が短縮され 多様な業態に対応する統合の仕組みをグループの武器として活用することが可能に

システム稼働後の効果について、石川氏は次のように述べます。

「定量的に数字として明確に出してはいませんが、次のような実感があります。例えば、月次の締めが終わり損益計算書を配布するという時、旧システムだと年を追うごとにデータ量が増えていたので、“出したいよ”と言ってから配布まで半日かかっていた。それが現在では、昼に締めれば夕方には手元に届けられます。月次の締めが終わり、次の作業に入るまでの時間が短縮できたのはとてもありがたく、今後店舗が増えたとしても、処理時間が急に増える心配もないので安心していられます。

通常業務でもそうですが、特に決算期に資料作りを行う場合、データの抽出を行う際のレスポンスが改善され、非常に速くなりました。出力の方法もバリエーションがあるので、作りたい資料に見合う出し方ができるようになりました。このように準備段階に要する業務時間が大分短縮できた点を高く評価しています。

定性的な効果は、あくまで感覚的なものですが、いろいろな業態の会社に対応できる仕組みを持つことが、今後のわれわれの武器になっていくと思っ

ています。今後もグループの自力での出店だけでなく、M&Aも積極的に行っていきます。対象となる会社の規模によっては『SuperStream-NX』を利用したほうが、作業量やデータの制御という点で大きな改善が見込まれる場合は、積極的に導入していくつもりです。このように、いろいろな業態の会社が仲間入りしても、すぐに会計を統合できることがグループ全体の強みになると考えています」

「会計システムの統合が完了すると、次は紙からデータへということで、ワークフローシステムの導入をNEC様と進めています。統合された仕組みがあり、すべてきれいなデータで上がってくるシステムをワークフローで実現できれば業務は格段に効率化できると思っています。例えば、支払いや帳票なども順にデータ化していきます。コアサポート設立後も新たな会社が何社か仲間入りしましたが、今後も業務の効率化を進めることで業務量を変えず、現有のスタッフで対応していけるスキームをつくるつもりです」（古川氏）

「私は経理が専門で、これまで会計システムでNECグループと直接仕事をする機会はありませんでした

が、当社の仕組みや導入目的に対する理解が深く、『SuperStream-NX』であればこうできますよと、事情を飲み込んで提案してくれ、何か困った時でも素早く提案してくれました。さらに、何か起こったときでも対応が迅速なので、スムーズに導入が進んでいます。二次、三次と進んでいく時も、経験を踏まえて事前に起こることを想定して提案してくれた点は、とてもありがたいと思っています」（石川氏）

「業務をしっかり見てくれ、『SuperStream-NX』で、こう解決できると提案してくれるので、本当に導入は順調でした」（鷲津氏）

「NECグループには、2003年にパローの基幹システムの構築からずっと当グループのシステムに携わってもらっています。15年以上の付き合いの中で大きな問題もなく、非常にスムーズに導入や運用が行われています。また当グループの事業内容や考え方もよく分かっているので、多くの言葉を要することなく理解して提案してくれます。非常に良いパートナーになっているので、これからも変わらない付き合いをしていきたいと思っています」と、古川氏は締めくくりました。

お問い合わせは、下記へ

NECソリューションイノベータ

営業統括本部 ビジネスソリューション営業部

E-mail: kaikai-jinkyu@nes.jp.nec.com

URL: <https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/ss/achr/>

●本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

●本製品（ソフトウェア含む）が、外国為替及び外国貿易法の規定により、規制貨物等に該当する場合、日本国外に持ち出す際には日本政府への輸出許可申請等必要な手続きをお取りください。

●本紙に掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものと多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

VEGETABLE
OIL INK

環境にやさしい植物油インキ
を使用しています。